



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	サステナビリティ・ウィーク2008結果報告
Author(s)	林, 和彦
Relation	サステナビリティ・ウィーク2008 クロージングシンポジウム, 平成20年7月11日, 札幌市
Issue Date	2008-07-11
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/34549
Type	lecture
File Information	42-10.pdf





北海道大学 サステナビリティ・ウィーク2008

Hokkaido University Sustainability Weeks 2008



結果報告

2008年7月11日

北海道大学サステナビリティ・ウィーク2008
クロージングシンポジウム

北海道大学クラーク会館

企画数と参加者数

- ・「持続可能性」に関わる話題を網羅的にカバーすることができた
- ・目標としていた3,000人規模の参加者が集まった

- 企画数 **50企画**
 - 講演者数
- } 期間: 2008年5月17日-7月11日

講演者	学内		82人
	学外	国内	110人
		海外 (23カ国)	103人
合計			295人

- 参加者数
- 集計範囲: 5月17日-**集計継続中**

学内		1,358人
学外	国内	1,507人
	海外	179人
合計		3,044人

平均127人 / 企画

広告

期間:2008年4月1日-7月10日

- ・新聞3紙に30の広告記事を掲載するなど「持続可能性」に係る本学の取り組みについて全学共通の広報を実施した

広報ツール

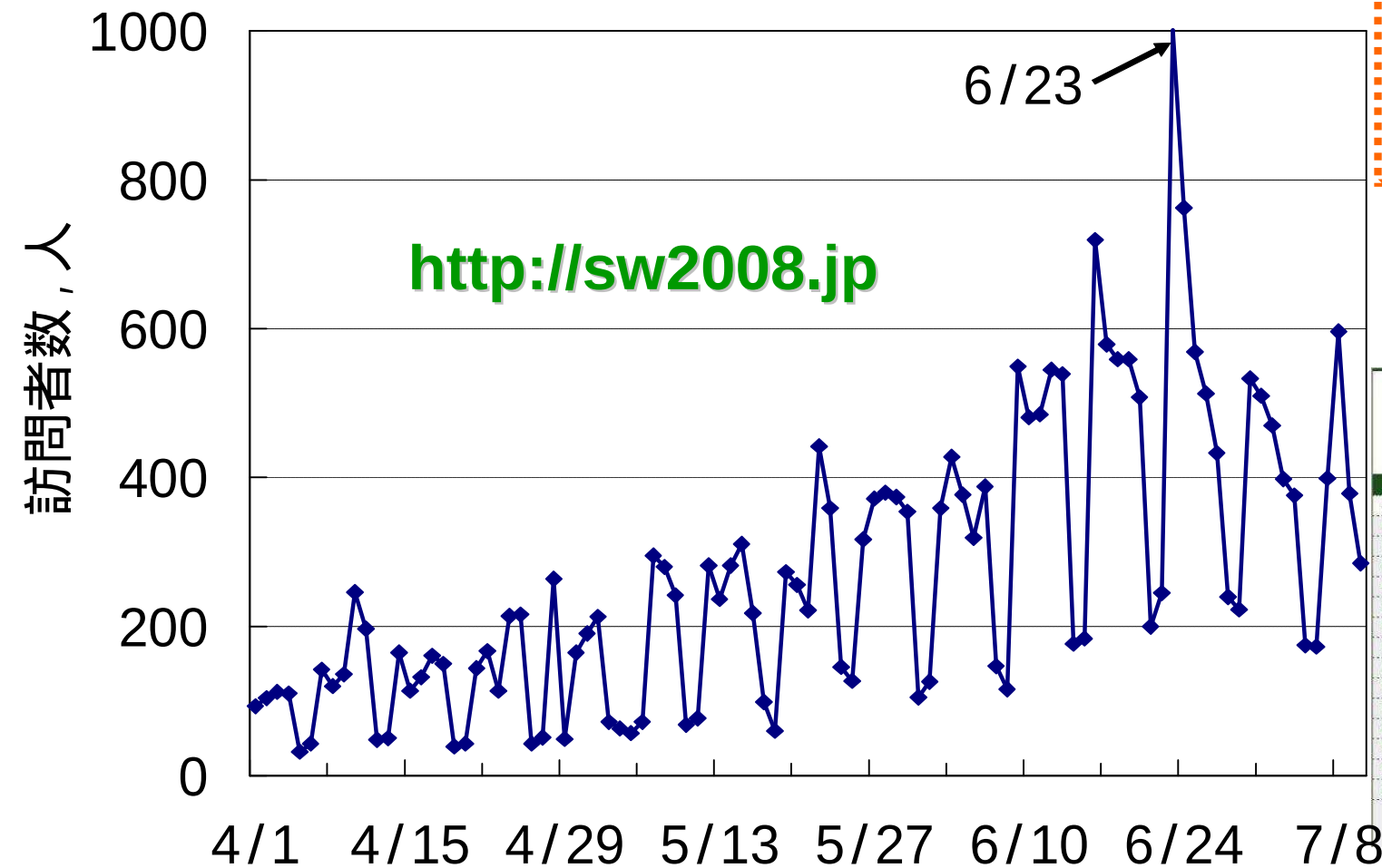


新聞広告



SW2008ウェブサイトの訪問者数

- 3ヶ月で2万7千人を超える訪問者があった
- 全学共通の情報受発信の窓口として広く利用された



27,134人
(平均269人 / 日)

期間:2008年4月1日
-7月10日



参加者アンケートの結果

広報によって本学の活動に対し、ある程度の認知を得ることができたが、今後はより効果的な広報のあり方について検討する必要がある

- 北海道大学が「持続可能な社会」の実現に向けた研究と教育に重点的に取り組んでいることを事前に知っていた

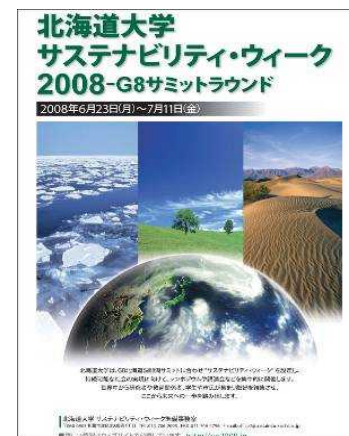
53%

- サステナビリティ・ウィーク2008開催を事前に知っていた

61%

- 回答数 **940件 / 24企画**

期間:5月17日-(集計継続中)



インフォセンター

設置期間:20日間(6月22日-7月11日)

・参加者や来訪者の情報ニーズに応える全学的なサービスを、
学生と市民のボランティアの協力によって提供できた

○ ボランティア数

学生 28人、市民 6人

○ 利用者数

計1,800人

平均90人 / 日

○ 生協商品購買者数

約700人



インフォセンターの外観



インフォセンターの活動の様子

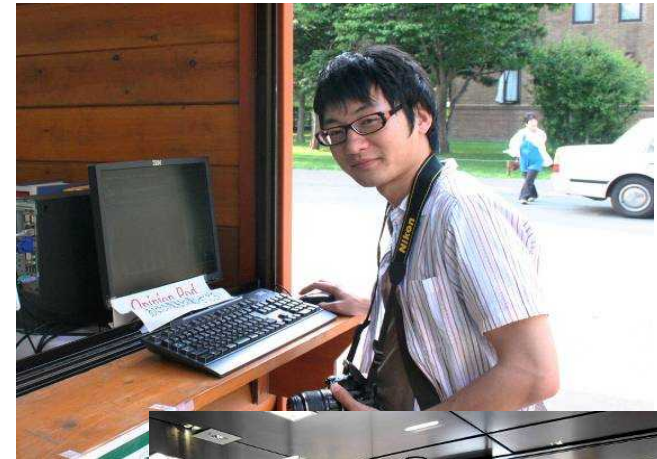
オピニオン・ポッド

設置期間: 20日間(6月22日-7月11日)

- ・自らの問題として持続可能性を考える機会を参加者に提供することで、SW2008の理解と参加を喚起できた

○ 質 問

- Q1. あなたが次の世代に残したいものは何ですか？
- Q2. 地球環境と社会がより良い形で持続するために、何が一番大切な事だと思いますか？
- Q3. あなたが今、学んでいることや取り組んでいることは、地球環境と社会がより良い形で持続するために、どのように役立てる事が出来ると思いますか？
- Q4. あなたの将来の夢は何ですか？



○ 回答数 210件 平均11件 / 日

入力意見をウェブサイト(<http://sw2008.jp/opinion>)で公開中

報道記録

サステナビリティ・ウィークの開催告知後、「持続可能性」に関連する本学の話題が集中的に雑誌・新聞に掲載された

○新聞5紙：読売、朝日、毎日、道新、日経

計129件

期間：2007年9月-2008年7月10日

○雑誌：北海道大人のウォーカー、国土交通、北洋銀行レポートetc.



2008年6月7日(土) 北海道新聞
G8大学サミット&サステナビリティ・ウィーク特集



2008年6月24日(火) 読売新聞
サステナビリティ・ウィーク2008
オープニングシンポジウムの紹介記事